北アメリカ州

名前

問1　アメリカ合衆国では、1970年代以降、北緯37度より南の地域で新しい工業が急速に発達しました。この北緯37度線を境界として南側に広がる、温暖な気候に恵まれた工業地域の呼称を選んでください。　(2015年 兵庫県公立入試 類似)

1. シリコンバレー　2. 既成工業地帯　3. サンベルト　4. スノーベルト

問2　アメリカ合衆国における「ヒスパニック」と呼ばれる人々の特徴や、社会に与えている影響について述べた文として、正しいものはどれですか。　(2026年 栃木県公立入試 類似)

1. アメリカ合衆国の先住民族であり、独自の文化を維持しながら、政府が指定した保留地（リザベーション）などで生活している。
2. アフリカからかつて奴隷として連れてこられた人々の子孫で、南部を中心に綿花栽培などの農場労働に従事させられた歴史を持つ。
3. イギリスなどの北西ヨーロッパから移住した白人の子孫で、アメリカ合衆国の建国以来、政治や経済の主導権を握ってきた。
4. メキシコなどのスペイン語圏から移住した人々で、日常生活でもスペイン語を用いることが多く、看板や放送にもその言語が使われている。

問3　アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3カ国間で結ばれ、域内の関税を撤廃することで貿易を活発にし、経済の活性化を図ることを目的とした協定の名称を選びなさい。　(2021年 岡山県公立入試 類似)

1. 環太平洋経済連携協定　2. 北米自由貿易協定　3. アジア太平洋経済協力会議　4. 東南アジア諸国連合

問4　世界の地形は、地殻変動の活発さによっていくつかの地域に分けられます。北アメリカ大陸西側のロッキー山脈周辺と、ヨーロッパ中央部の平原の地形的な違いを説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。　(2018年 群馬県公立入試 類似)

1. ロッキー山脈周辺は浸食が進んだ古期造山帯であり、中央平原に比べてなだらかな山地が広がっている。
2. ロッキー山脈周辺は地震や火山活動がほとんどない安定陸塊であり、中央平原に比べて地盤が安定している。
3. ロッキー山脈周辺はプレートの動きが活発な新期造山帯であり、中央平原に比べて地形が険しく標高が高い。
4. ロッキー山脈周辺はプレートの内部に位置するため、中央平原に比べて火山活動が活発で標高が低い。

問5　1970年代以降、アメリカ合衆国のカリフォルニア州からメキシコ湾岸にかけての南部の地域で、急速な発展を遂げた産業の種類として最も適切なものを選んでください。　(2015年 兵庫県公立入試 類似)

1. 石炭や鉄鉱石の産地に近い場所での鉄鋼業
2. 内陸部の広大な農地を背景とした大規模な食品加工業
3. 安価な電力を利用したアルミニウム精錬などの素材産業
4. 航空宇宙産業や電子機器などの先端技術産業

問6　北アメリカ州の五大湖沿岸に位置する都市デトロイトの、立地条件や産業の歴史について述べた説明として最も適切なものはどれですか。　(2021年 東京都公立入試 類似)

1. 18世紀から時計や医療機器などの精密機械工業が盛んで、アルプス山脈の豊富な水力を利用して発展した。
2. 18世紀の建設当初は毛皮交易の拠点であったが、運河の整備を経て、20世紀には自動車工業が集積するようになった。
3. 五大湖周辺の冷涼な気候を活かした酪農が盛んであり、乳製品を加工する食品工業が20世紀の経済を支えた。
4. 南米のアンデス山脈に近い立地を活かし、古くからスズや銀などの鉱業資源を輸出する拠点として発展した。

問7　カリブ海やメキシコ湾で発生し、フロリダ半島などのアメリカ合衆国南東部へと北上する経路をたどる、強い勢力を持った熱帯低気圧を何と呼びますか。　(2023年 熊本県公立入試 類似)

1. サイクロン　2. タイフーン　3. ハリケーン　4. トルネード

問8　ある国の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約4人と極めて低く、1人あたりの国内総生産（GDP）が約4万2000ドルと高い水準にあり、さらに小麦の生産量が年間3000万トンを超える世界有数の農業国でもある国はどこか、次の中から選びなさい。　(2020年 山形県公立入試 類似)

1. カナダ　2. インド　3. ブラジル　4. ナイジェリア

問9　北アメリカ大陸において、地震の発生リスクや火山の噴火リスクが特に高い地域を具体的に示した組み合わせとして、最も適当なものはどれですか。　(2022年 群馬県公立入試 類似)

1. アラスカ周辺、アメリカ合衆国の西海岸、メキシコから中央アメリカにかけての地域
2. カナダ北部の北極海沿岸、ハドソン湾周辺、およびミシシッピ川の下流地域
3. ニューヨーク周辺の東海岸、五大湖周辺、フロリダ半島からカリブ海にかけての地域
4. アパラチア山脈周辺、グレートプレーンズと呼ばれる中央平原、およびカナダ東部

問10　北米における多国籍企業の活動と、メキシコの工業化の背景について述べた文として、正しいものはどれですか。　(2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. ブラジルなどの南米諸国との経済統合を優先するため、アメリカ合衆国の企業はメキシコから工場を撤退させている。
2. メキシコはカナダと国境を接しているため、北米全域への製品供給が容易であることから、多くの工場が集まっている。
3. メキシコ政府が労働者の賃金をアメリカ合衆国の水準まで引き上げたことで、技術力の高い多国籍企業がさらに増加した。
4. 自由貿易協定による関税の撤廃や軽減を活用し、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコへ工場を移した。

問11　北アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に貫くように連なる標高が高く険しい褶曲山脈の名称を選びなさい。　(2017年 茨城県公立入試 類似)

1. アパラチア山脈　2. アンデス山脈　3. アルプス山脈　4. ロッキー山脈

問12　アメリカ合衆国の人口構成の変化について述べた以下の説明のうち、メキシコや中南米からの移民とその子孫である「ヒスパニック」に関する記述として正しいものはどれですか。　(2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. アジア諸国をルーツに持ち、アメリカ西海岸のIT産業を支える最大の集団である
2. 主にスペイン語を話し、近年ではアフリカ系住民の人口割合を上回っている
3. 北アメリカ大陸の先住民であり、現在は特定の保留地のみに居住が限定されている
4. 主にフランス語を話し、アメリカ北部のカナダ国境付近に集中して居住している

問13　アメリカ合衆国において、北緯37度より南側に位置する温暖な地域では、1970年代以降に航空宇宙産業やコンピュータ関連などの先端技術産業が急速に発達しました。この地域を何と呼びますか。　(2019年 大分県公立入試 類似)

1. シリコンバレー　2. サンベルト　3. スノーベルト　4. ラストベルト